Let's access it！→ http://www.tokoupren.org/　　2014年9月12日発行

都高P連合報

第75号

発行:東京都公立高等学校PTA連合会　　事務局:東京都杉並区南荻窪4-29-10 田丸ビル205号

編集:調査広報委員会　Tel:03-5941-5067　Fax:03-5941-5068　Email:jimukyoku@tokoupren.org

第26回東京地区高等学校PTA連合会大会　開催!

「教育と考福、そして生きぬく力」をテーマに　保護者と子供たちが集い作り上げた熱き一日

平成26年7月12日（土）　於・国立オリンピック記念青少年センター

上左：向丘ヴォーカルアンサンブル部

上右：竹早コーラス部

中左：鷺宮和太鼓部

中央:北園ストリートパフォーマンス部

中右：農業服飾科

中右下：飛鳥美術部

下左:基調講演　安中幹雄氏(パラリンピック日本代表)

下中央及び下右:向丘華道部

震災体験を聞き現在の復興状況を知る　2014夏の東北被災地ボランティアツアー

CONTENTS

P1　第26回東京地区大会開催！
P2　都高P連総会・会長挨拶
P3　広報誌コンクール報告
P4～P5　第26回東京地区大会詳報
P6　ボランティアツアーレポート
P7　H26年度各委員会委員長より
P8　ご存じですか？「あの用語」

東京都公立高等学校 PTA 連合会　平成 26 年度定期総会開催

平成 26 度事業計画含め全議案を可決　　納見新会長挨拶

平成 26 年 6 月 14 日、国立オリンピック記念青少年総合スポーツセンターで、平成 26 年度定期総会が開催されました。

◆議会成立要件

	H25 年度	H26 年度
議決総数：	91	87
参加校　：	41	53
委任状数：	13	15

議事に先立ち、来賓の鵜飼敦之様（都教育庁地域教育支援部生涯学習課主任指導主事）と澤田悟様（都立学校経営企画室長会会長）から総会開催の祝辞をいただきました。

審議事項については、H25 年度副会長志村なつみさん（西部南）の司会、議長・H25 年度理事日下田悦男氏（中部北）、副議長 H25 年度理事小山久江さん（西部北）のもと、以下の５議案すべてが可決されました。

【第１号議案】平成 25 年度事業報告
【第２号議案】平成 25 年度会計報告
【第３号議案】会則変更（案）
【第４号議案】平成 26 年度事業計画
【第５号議案】平成 26 年度会計予算

H26 年度　スローガン

『私たちの明日と、子どもたちの未来へ』

◆平成 26 年度役員紹介◆

会長　：納見 敏明（西部北地区）
副会長：筒井 孝敏（西部南地区）　芦沢 貴美枝（西部北地区）
榊原 正人（中部南地区）　池本　義信（中部北地区）
三木 健司（東部北地区）

納見 敏明　平成 26 年度会長　挨拶　～都高Ｐ連の存在意義と役割を　分かり易く伝えて行きたい～

東京都公立高等学校ＰＴＡ連合会の会長を務めております納見です。平成２５年度に都高Ｐ連の会長になりまして、今年で２年目になります。

我が家は共働きで、かつ私が子ども好きということで、保育園から学童保育とずっと子育てに関わって来ました。小学校のＰＴＡにも随分誘われたのですが、平日の昼間の活動が多く、断り続けて来ました。

息子が高校に入ってからも、ＰＴＡ総会には出るけれど、役員なんて考えもしませんでした。ところが、息子が１年の秋に、学童保育で知り合った他校のお母さんから、「今度、東京でＰＴＡの全国大会があるので、手伝って欲しい」と言われ、写真を撮るくらいならばできそうだということで、引き受けることになりました。そこで、高校のＰＴＡ副会長になり、『Ｐ連担当』を受け持つことになりました。

最初は、西部北地区というところに連れて行かれ、いきなり書記という役職が降って来て驚きました。しかし、地区長さんが良い人で、すぐに仲間に溶け込めました。

都高Ｐ連の方も、全国大会の資料広報部というところで、写真だけでなく、ＤＶＤの製作にも関わることになりました。

さらに、エキシビションで第九の『喜びの歌』を合唱するという企画にも巻き込まれて、ＰＴＡ三昧の日々を過ごすことになりました。

そこで知り合った人たちが素晴らしく、「この人たちとならば、ＰＴＡ活動を続けて行ってもいいなぁ！」と思ったのが、今私が都高Ｐ連の会長になっている動機です。

さて、会長の職も２年目に入り、都高Ｐ連に深く関わるようになって、その存在意義を強く感じるようになりました。東京都との意見交換や要請活動、さらには全国高等学校ＰＴＡ連合会との連携による国への働き掛けなど、非常に重要な役割を果たしています。しかし、それが一般のＰＴＡ会員の皆さんにはなかなか伝わりません。今年度は、できるだけそういった都高Ｐ連の役割を、分かり易く伝えて行きたいと思っています。

【のうみとしあき（西部北・国分寺）】

第36回広報誌コンクール

平成２６年６月１４日（土）国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議場において第３６回広報誌コンクール表彰式と「広報誌作成のノウハウ」についての講演会が行われました。

広報誌コンクールは、**各単位ＰＴＡの広報活動の活性化、広報誌作成のレベルアップを図る目的**で行われ、未加盟校にも応募を呼び掛け毎年多くの学校から応募があります。

審査は、レイアウト、企画・テーマの創意工夫、読みやすさ、コストパフォーマンスなどの視点で採点し、各賞が決定します。

講　　評

表彰状授与の前に来賓の方々と納見会長より講評がありました。

いくつか紹介しますので今後の参考にしてください。

○総合学科や専門学科の広報誌が学校の様子や活動内容の紹介に独自性があるものが多かった。

○アンケート結果の分析など、今後はもうひと工夫して、学校へ前向きな提言があるといい。

過去に広報誌のアンケート結果を踏まえ、生徒・保護者・学校が協力し、学力向上や生活習慣の改善につなげ、地域の評価も上がった学校があった。

○背景の色合いなどが良かった。

○紙面ぎっしり記事があり内容が充実していた。

○ＰＴＡの広報誌なのでＰＴＡ活動がしっかり載っているところ、特に都高Ｐ連の活動や全国大会などが載っているのが良かった。

○他の広報誌には無いワンポイントがあった。

○ＰＴＡの行事、生徒の活動がバランスよく取材されていた。

○家庭に持ち帰った時、保護者と子どもの会話に役立つものが多かった。

第36回広報誌コンクール受賞校

※未加盟校

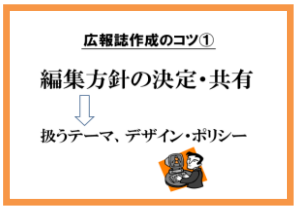
	地区名	学校名	広報誌名称
教育委員会賞	西部南	農業	いなほ
教育委員会賞	西部南	日野台	ひのだい
教育委員会賞	西部北	国分寺	国分寺
校長協会賞	西部南	八王子東	志羅伽之（しらかし）
校長協会賞	西部南	町田総合※	藕絲（ぐうし）　はすの糸のこと
校長協会賞	東部北	上野	いちょう
高校生新聞賞	西部南	成瀬※	欅
高校生新聞賞	東部北	足立	やよいの
高校生新聞賞	東部北	足立西	道
会長賞	西部南	八王子北	銀杏（ぎんきょう）
会長賞	中部北	豊島	TOSHIMA
会長賞	東部北	淵江	北極星
特別賞	中部南	園芸	いちょう並木
特別賞	中部南	神代	神代
特別賞	中部北	板橋	ITABASHI
特別賞	東部南	晴海総合※	はるみの風

講　演　会

表彰式に先立って、**「広報誌作成のノウハウ」**というテーマで講演がありました。

講師は、ダイヤモンド社人材開発編集部の間杉俊彦氏。

間杉氏は都立府中高校、北多摩高校、都高Ｐ連でＰＴＡ活動も経験しており、保護者・ＰＴＡ・編集のプロの視点からお話しをしていただきました。



PDF 資料は都高Ｐ連ＨＰに掲載中！

URL:http://www.tokoupren.org/

教育委員会賞受賞校広報誌

農業高校「いなほ」

日野台高校「ひのだい」

国分寺高校「国分寺」

全国高Ｐ連共催　第 26 回東京地区高等学校 PTA 連合会大会
『教育と考福、そして生き抜く力』
～私たちの明日と、子どもたちの未来へ～

平成 26 年 7 月 12 日（土）、第 26 回東京地区高等学校 PTA 連合会大会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、保護者・生徒合わせて約 600 人が会場に集い盛大に行われました。

大会は、渡辺克己農業元会長の司会により、開会の言葉、来賓の祝辞の後、**バンクーバーパラリンピックのアイススレッジホッケーで銀メダルに輝いた安中幹雄氏による基調講演、**8 月 21 日から開催される**全国高等学校 PTA 連合会大会福井大会で事例発表を行う片倉高校の PTA の取り組みの発表**と続きました。

休憩時間を挟んで、高校生による舞台発表が行われ、**和太鼓(鷲宮)、ストリートパフォーマンス（北園）、コーラス（向丘・竹早）、ファッションショー（農業）**など各学校の特色を生かし、日頃の活動の成果を発揮していました。1つ1つ生徒たちの発表が終わるたびに会場は盛んな歓声や拍手に包まれていました。

また、展示エリアでは７校が出展し、**中国切絵（東村山西）、写真（多摩工業）、書道（小川）、家庭科授業発表（小平南）、ファッションデザイン画（農業・服飾科）や自作マンガ（小川）美術作品（飛鳥）、生け花（向丘）**といった力作が多数紹介されており、来場者はそれぞれの作品を熱心に鑑賞したり、作品について説明を受けたりしていました。

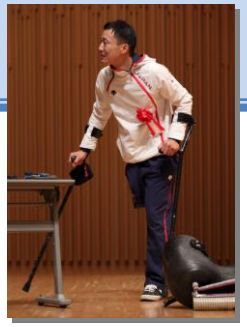
高田教子実行委員長より基調講演の講師である安中さんへ贈呈された花束は都立園芸高校園芸科 3 年生の櫻井七海さんによる作品でした。

大会終了後、来場者に大会の内容について取材しましたが、皆さん異口同音に「感動しました」「とても良かったです」と言う言葉が最初に出てきていたことからも、この大会の素晴らしさが想像できると思います。

他にも「子どもたちの真剣な様子に涙が出た」「安中さんの話は是非子どもたちに聞かせたい」「障害に負けない心の強さを私たちも見習わなくては」「自分の子どもが通っていない学校の様子がよく分かった」「家に帰ったら子どもに話したい」等、沢山の感想を聞くことができました。

さらには「自校にないユニークな部活の舞台・展示の発表は必見。もっと PR して、来年はもっと多くの方と観に来たい」という“課題”の言葉もいただきましたが、「来年は自分たちも舞台で発表したい」と言う生徒の方もおり、参加したすべての方に、とても良い余韻を残した大会となりました。

全国高Ｐ連共催　第 26 回東京地区高等学校 PTA 連合会大会
基調講演　安中幹雄氏
「生きぬく力」



●安中幹雄（あんなか　みきお）氏プロフィール
昭和 46 年東京都武蔵野市生まれ。都立保谷高校在学中、骨肉腫のため右脚を切断。平成 10 年 5 月アイススレッジホッケー体験会に参加、やがてパラリンピック日本代表となる。平成 18 年トリノ・パラリンピックで 5 位入賞、平成 22 年バンクーバー・パラリンピックで優勝候補のカナダを破り銀メダル獲得。 2 児の父。

絶望から立ち直れた理由

高校三年の夏、ラグビー部を引退し、後輩を指導中に右足の大腿骨を骨折しました。その原因が腫瘍であることがわかり、転院した大病院で、直ぐにでも足を切らないと命が助からないと言われました。

ラグビー、デート、就職、結婚…自分の将来の全てがダメになったと感じ、もう生きていてもしょうがないと、一晩中泣きました。

翌朝、隣に入院していたおじさんに、「ご両親に涙を見せてはだめだよ、君よりもご両親のほうが辛いんだよ」と言われました。その時は分かりませんでしたが、親となった今はよく分かります。

手術後、自分の姿を自分で受け入れられず、鏡を見られなかった状態から立ち直ることが出来たのには大きく３つの理由があります。

一番大きかったのは**家族の支え**で、母は愚痴や我が儘をずっと聞いてくれ、父は煙草やお酒を断ってお見舞いに来てくれていました。

二つ目は**友達の励まし**です。受験勉強で忙しい中、お見舞いに来てくれて、それが無ければ学校に復帰したいと思わなかったでしょう。

もうひとつは伯母の、**「幹ちゃん良かったね、骨折して腫瘍が発見されて命が助かって！」という言葉**です。それでプラス思考になることが出来ました。

アイススレッジホッケーとの出会い

長野パラリンピックを見た友人から勧められて体験会に参加したところ、みんな筋肉ムキムキのすごい体つきで、それまで私が抱いていた「車椅子＝か弱い」というイメージが完全に覆されました。

そうして気がついたら私も練習に毎回参加し、パラリンピックを目指すようになっていました。

競技を始めて一番良かったことは、**仲間との出会い**です。みんな元気で目標を持って頑張っているので自分も負けられません。足を失った原因も笑って話せる仲間です。

二番目は、**夢中になれるものに出会えたこと**です。目標や夢ができ、生きているのが楽しくなりました。

「日の丸」を付けて試合に出ることで自分に対して自信も付きましたしTVにも呼んでもらいました。

モチベーションと継続

銀メダルを取るまでには辛いことも沢山ありました。ギリギリ代表から落とされた時は本当に悔しくて一年間ほど辞めていましたが仲間に呼び戻してもらいました。

そのあと必死にトレーニングしてトリノ大会に出場できたのですが、メダルを取れなかったのが悔しかったのと、妻をはじめ多くの方々に恩返ししたいという気持ちで、もう一度挑戦することになりました。

辛い筋トレは、朝歯を磨くみたいに習慣化して継続しました。自分に負けないでやりきることが大切だと思います。そうやって、千回やって一回しか勝てないような相手に勝つことができたのです。

最後に三つ、皆さんに伝えたいことがあります。**「家族を大切に」「友達を大切に」「何でもいいから目標を持ち、継続して向かっていってください」**

株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社は平成26年9月1日に合併をし、損害保険ジャパン日本興亜株式会社となりました。合併後も一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 東京公務開発部営業開発課 TEL 03-3593-6506

2014 夏の東北被災地ボランティアツアー報告　2014/7/25（金）～7/27（日）

都高Ｐ主催の東北被災地へのボランティア派遣も、2012 年夏から 5 回目を数え、これまで、延べ 160 名以上の高校生と保護者に体験して貰って来ました。東日本大震災で甚大な被害のあった被災地の市街地の 3 年半経過した**現在の状況を実際に見て貰う視察**、漁協さんの協力を得て作業を行う**漁業支援活動**に加えて、前回の春休みツアーから**民家での宿泊体験**を実施。民家の方との直接の語らいを通して、震災の体験や現在の復興状況を知る貴重な体験が得られます。【羽生田武二（小平南）・記】

7 月 25 日（金）東京出発～石巻市視察～南三陸町到着～民泊 1 日目

16 名を乗せたバスは、7 月 25 日金曜日 7 時 45 分、梅雨明けの快晴の空の下、**新宿西口を出発**。娘さんが心配で見送りに来られた出勤前のお父さんが３名。行って参ります！

車中で各自自己紹介、参加の動機等を話して貰いながら、バスは東北自動車道から三陸自動車道を進み**石巻市方面へ**。14 時 30 分～15 時**門脇小学校視察**。春と同様に危険防止の為にシートに覆われたまま、さらに風化が進んでいました。15 時 40 分～16 時 10 分**大川小学校を視察**。やはり風化が進み、建物が前回より崩れていました。周囲がどんな場所に学校が建っていたのか、当時子供達がどんな思いで避難したのか等、想いを馳せました。慰霊碑に合掌。

17 時**南三陸町に到着**。『ひころの里』で 2 日間お世話になる民家の方との緊張の対面式。

7 月 26 日（土）漁業支援活動～陸前高田市視察～民泊 2 日目

2 日目の午前中は、漁業協同組合長の遠藤さんの作業場所で**漁業支援活動**をさせて頂きました。作業前に特産品のホヤ貝やホタテについての説明と共に試食をさせて頂きました。

当日夜は花火大会があり、漁協前の通りが出店スペースとなる為その準備作業を。最初に漁協前に積んであったホタテの養殖用のロープを入れたカゴを片付ける為、裏の空き地まで運ぶ作業を、その後養殖用のロープに残っているホタテ固定用のフックをロープから外す作業をしました。快晴で気温 30 度と暑い日でしたが、日陰で作業が出来たので、助かりました。また、子供たちの為に冷たい飲み物も準備して下さり、感謝です。生徒の中には、誰にも指示された訳では無いのに、次の工程の種付け作業がしやすい様に、ロープに付いたゴミを丁寧に取る生徒もいて感心しました。短い時間でしたが、慣れない作業で結構疲れました。

午後は**陸前高田市方面への視察**を実施。14 時 30 分～16 時、陸前高田市で語り部さんの説明を聴きながら現地を視察。街全体の様子は前回春休みに来た時よりも更にかさ上げが進み、山から土砂を運ぶベルトコンベアも増設され、日本中のトラックと重機が集合したような光景に驚きました。今回の語り部さんは、津波の怖さを強調して話して下さり、また咄嗟の判断が命を救った生徒や先生方の事例を引き合いに、臨機応変に対応できる実践的な避難訓練が大切である事を伝えて下さいました。奇跡の 1 本松や崩れた校舎を見ながらの説明なので、実感がありました。

17 時 45 分**南三陸町に戻り**、それぞれの民家に帰りました。夜は花火を見に行くか、家でゆっくり語らうのか、過ごし方は各家庭にお任せしました。

7 月 27 日（日）南三陸町～女川町～東京帰着

朝 9 時 30 分から『ひころの里』で２日間お世話になった民家の方とのお別れ式をしました。「食事が美味しかった」「親切にして頂きありがとうございました」と各民家毎の生徒代表の感謝の言葉、「もっとあれもこれもしてあげたかった」「また来てね」との各民家の方の涙の挨拶の後、全員で記念撮影。南三陸町の皆さんの温かさを感じた素晴らしい２日間の民泊体験でした。

帰路、１年ぶりに**女川町を視察**。石巻市で一番復興が進んでいると言われており、かさ上げが終わって新しい街が生まれ始めていました。横倒しになったビルは２つだけ残されていました。女川町の語り部さんは、当時マリンパルで働いていた男性の方で、命の大切さと家族で普通の生活が出来る幸せ等、子を持つ親として共鳴出来る話しをして下さいました。

19 時 30 分**新宿駅到着**。天候に恵まれ怪我人・病人もなく無事に過ごす事が出来たことに感謝。また今回のツアーに理解協力し子供達を送り出してくれた保護者、PTA 会長始め PTA 関係者、校長先生始め学校関係者等沢山の方々に感謝します。

平成 26 年度　各委員会委員長より

◆学校教育委員会

委員長：松本 成仁（西部南地区）

学校教育委員会は、①キャリア教育の推進、②自転車の安全運転などの啓蒙活動の推進、③都立高校の制度・体制・設備などのソフト・ハード両面の充実図るための活動、④ヒアリングやアンケートの企画立案および意見の集約、を柱とし活動しています。

9 月から 10 月に掛けて、昨年実施した学校教育環境アンケートの結果に基づき、都行政への要望事項を要望書として取り纏めて提出し、かつ政党ヒアリングにて我々の要望を直接届けて参ります。また、今年も学校教育環境アンケートを実施し各学校の問題点や要望を取り纏めていきます。

全校配備が実現したスクールカウンセラーについてカウンセラーの性別を選択可能とする改善や、新たな視点として英語教育の在り方の提言、保護者の教育費用に対する手当て（授業料無償化継続、所得税控除の新設等）も加えていく予定ですのでご協力の程よろしくお願いします

◆第 27 回東京地区大会実行委員会

委員長：小山 久江（西部北地区）

全国Ｐ連は九つの地区に分かれており、東京都のみを一地区とし東京地区大会が開催さされます。私たちは来年7月に開催が予定されている第27回東京地区大会に向けて、一年かけて企画運営を行う常置委員会です。

全国大会のプレ大会であり全国高Ｐ連より助成金を受け行っております。

今回は保護者の為の大会であるという主旨を確認し、保護者の方々の舞台参加が出来るような企画を今は検討中です。講演者の方は今のところ模索中ではありますが多くの方に足を運んでいただけるような魅力ある方にお願いしたいと考えております。

また、大会に参加することで、都高Ｐ連の活動そのものがわかりやすく皆様に提供できる機会にもしたいと思っています。

当日はたくさんの方々にお力をお借りし大会成立となります。なにとぞお力添えのほど宜しくお願い致します。

今のところ5名の運営となりますが『楽しくなければPTA ではない』そんな思いを持った委員の方ばかりです。大会成功目標にこの一年楽しく活動していきたいと思います。

◆防災対策委員会

委員長：清水 秀隆（中部北地区）

今年度、委員会に参加させて頂く事になりました、板橋高校の清水と申します。宜しくお願い致します。参加させて頂き、初めて知る事が多く驚いています。ボランティアツアー、クッキー等、全く知りませんでした。

「私達は忘れない！」のキャッチフレーズに加えて今年度から防災マニュアル作りが出来ればと、現時点で2回委員会を実施し、自分の高校は、どうなっているのかを知る事からと思い、個人で1回、委員会で1回、話し合いを実施。

学校関係者、生徒の通勤、通学途中、在校中、帰宅途中と、いつ、どこで、どのような災害に遭遇するか解りません。防災対策委員会として、マニュアル作りに参加出来る事は、喜ばしい限りです。

◆子どもの貧困対策委員会

委員長：六郷　伸司（中部北地区）

子どもの貧困対策委員会は今年度から正式に発足した特別委員会です。

この先進国である日本も、経済的格差が広がり、今や６人に１人は「子どもの貧困」です。私たちが住んでいる東京においては、小中学生の就学援助率を見る限り、約５人に１人は経済的困難な家庭があり、そしてその子どもたちが高校へ進学しています。その子どもたちには、修学旅行に行けない、生活するためにアルバイトが忙しく勉強ができない、進学するために学習塾に通いたいが費用が無い、将来何をやっていいかわからない、という声が聞こえてきます。この子どもたちは私たちの子どもたちです。子どもは将来の宝です。そしてその保護者の皆さんは私たち都高Ｐ連の仲間でもあります。

そこで委員会活動の目標として、子ども達に「安心した学校生活を送ってもらう」「夢や希望のある将来を描いてもらう」「卒業してもらう」の３つを掲げました。

昨年、国が子どもの貧困対策法を制定しました。今後大綱が示され、具体的な対策が施されます。ただし、行政だけでは不充分であるとも考えられます。

子どもの貧困対策委員会では、この子どもの貧困対策法を見据えながら、私達にできる支援で行政の不充分な部分を補う活動をしていきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

また、子どもの貧困についての学習会を行います。各地区、又は各単Ｐに出向いて開催いたします。どうぞお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

◆調査広報委員会

委員長：上田 晋也（西部南地区）

今年度調査広報委員会では、今ご覧いただいております都高Ｐ連の会報誌を年３回発行させて頂きます。一人でも多くの方に、また、都高Ｐ連に加盟していない他校の方々に、少しでもわかりやすく、活動の内容をお報せしご理解とご協力いただける一助となればと思っております。

また年度末には年間活動記録「活動のあゆみ」を発行させて頂きます。

各地区地区長並びに、各単Ｐの会長の皆様には、取材依頼などお手数をおかけするかとは存じますが、何卒ご協力いただけますよう、この場をお借りしてお願い申しあげます。

ご存知ですか？

都高Ｐ連で使われている「あの用語」について解説します！

※画像は第 26 回東京地区大会リハーサル風景

用　語	正　式　名　称	解　説
都高Ｐ連 （トコウピーレン）	東京都公立高等学校ＰＴＡ連合会	都立高校の保護者・教職員が生徒の教育環境向上や健全育成を目指して設立した社会教育団体。公立高校のＰＴＡ団体として都の教育委員会から認知されている唯一の団体。
単Ｐ（タンピー）	単位ＰＴＡ	各学校のＰＴＡのこと。ＰＴＡ連合体と区別するときに用いる。行政用語。
全国高Ｐ連（ゼンコクコウピーレン）	一般社団法人　全国高等学校 ＰＴＡ連合会	高等学校ＰＴＡ活動を通して教育の充実、青少年の健全育成を図り、生涯学習社会の形成に寄与することを目的として様々な事業を行っている全国規模の団体。（私立も含む）
地区Ｐ連 （チクピーレン）	各地区のＰＴＡ連合会	平成１８年都立高校は１０学区制から６地区と島嶼地区に変更された。都高Ｐ連も行政の地区に合わせるため、平成２０年に東部南・東部北・中部南・中部北・西部南・西部北・島嶼の７つの地区に変更、その地区割り名称。
全国大会	全国高等学校ＰＴＡ連合会大会	全高Ｐ連が主催、各都道府県のＰＴＡ連合会が主管して開催されるＰＴＡの全国大会。毎年８月に日本全国から約１万人が参加し、基調講演、分科会等を行う。
東京地区大会	東京地区高等学校 ＰＴＡ連合会大会	都高Ｐ連主催、全高Ｐ連共催の大会。８月に開催される全国大会とリンクしたテーマで開催される。

◆平成 26 年度年間行事予定（H26 年 9 月以降）◆

9 月

9 月 8 日　（月）　中部北地区　代表者会議
9 月 20 日　（土）　全国高Ｐ連 各種委員会・ 総務委員会・理事会
9 月 21 日　（日）　全国高Ｐ連 全国会長会・事務局長研修会

10 月～12 月

10 月 13 日　（月・祝）　西部北地区　ソフトボール大会
10 月 15 日　（水）　運営委員会　　第 3 回
10 月 29 日　（水）　全都会長会　　第 2 回
11 月 23 日　（日）　西部北地区　バレーボール大会
12 月 6 日　（土）　幼小中高 PTA リーダー研修会

平成 27 年 1 月・3 月

1 月 24 日　（土）　高校 PTA リーダー研修会　　3 月 18 日　（水）都高Ｐ連 会長選挙

〈参考〉　全国高Ｐ連 HP、都小Ｐ　HP、都中Ｐ　HP

【年 3 回発行】次号発行は『全国大会福井大会特集号』の予定です。ご期待下さい!!

印刷：株式会社アポロ社 TEL:03 (3954) 5011

AIUの高校生総合保障制度
（こども総合保険）
私共AIUは、日本で営業を開始して早や65年が経ちました。
学校・PTAを通じた保障制度にも25年以上ものあいだ積極的に取り組み、おかげさまで
全国23,000校以上(※)の学校・PTAにて学生総合保障制度をご採用いただいております。
（詳細は引受保険会社へお問い合せ下さい）
社会貢献事業
「高校生国際交流プログラム」
(※)2013年度弊社加入データ調べ
〈引受保険会社〉
AIU保険
Member of AIG
首都圏地域事業本部　東京第二支店
〒163-0814
東京都新宿区西新宿2-4-1新宿NSビル14F
TEL 03-6894-9110
午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
http://www.aiu.co.jp

地球の未来にできること。
マングローブ「海の森」づくりは、
その答えのひとつです。
TOKIO MARINE NICHIDO
東京海上日動火災保険株式会社
東京都千代田区丸の内1-2-1　〒100-8050
0120-868-100
午前9時～午後8時（平日、土日祝とも）